

平成29年度からの新たな特預金の使途に関する事業計画(実施スケジュール)

事業内容	実施スケジュール					特預金 出えん等 概算額	出えん額の確定 /承認申請	
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度			
1. 不法投棄・不適正保管対策への支援事業の拡充	①不法投棄・不適正保管事案に関する詳細な調査と対策案の検討・提案	全国の事案調査 103事案(10台以上の事案)	課題類型化 対策検討	自治体に向けた対策等の情報発信 改善状況の確認		3億円/5年 (現時点で想定できない 新規大規模事案等への 対応分2億円含む)	定常の離島対策等支援事業と合わせて予算額と同額の出えんについて承認申請を行う。翌年度以降は残額を考慮して翌年度予算額を決定。	
	②不法投棄・不適正保管事案解消のための自治体担当者への知見の提供	支援策の 検討・実施	支援策の実施					
	③自動車の不法投棄等に関する相談窓口の拡充	開設準備	窓口対応開始					
	④自治体のニーズに応じた対策(今後メニューを確定する対策)	方針検討 (国)	モデル事業の支援	要綱等の 改定	他事案に適用した対策に係る支援			
2. 自動車リサイクル情報システムにおけるデータセンターの機能維持のための更新	①次期DC委託ベンダーの入札	入札	準備→入札→ベンダー決定			非公開	平成29年度下半期に行う契約に基づき出えん額を確定し、承認申請を行う。	
	②設計・構築・テスト	設計	構築	テスト				
	③次期DCへ切替			切替				
	④次期DC運用			次期DC運用(平成31~36年度)				
3. 大規模災害への対応	①災害発生時:番号不明被災自動車への再資源化預託金等の預託等※1	南海トラフ地震等、番号不明被災自動車の発生規模が極めて大きいことが想定される災害発生時に備えた出えん枠の確保					特に巨大な激甚災害発生時の出えん等に備え、特預金残高の中で20億円を確保する。	資金管理料金会計収支に影響を与え得る災害が発生した際には、番号不明被災自動車の発生台数に応じて出えん額を確定し、承認申請を行う。 (出えんまでの資金繰りは資金管理法入会計で立替える)
	②事前対応:災害時における自動車リサイクルの円滑化に資する情報提供・協力事業	環境省 廃棄物対策課との連携・確認	東日本大震災等における事例等の調査・取り纏め	手引書・事例集改訂	手引書・事例集改訂	地域ブロック協議会/連絡会との連携		実際に発生した費用に基づき、出えん額を確定し、承認申請を行う。 (出えんまでの資金繰りは指定再資源化機関2号会計で立替える)
4. 自動車リサイクルの更なる発展に向けた理解活動の取組	①情報発信	直ぐに実施できる取組・既存の取組の改善活動 (ex:Webページ記載内容やコンテンツ等の追加・修正)		PDCAサイクルを回しながら取組を推進	更なる発展的取組	13億円/5年	実際に発生した費用に基づき、出えん額を確定し、承認申請を行う。 (出えんまでの資金繰りは各指定法人会計で立替える)	
	②情報収集	取組内容の検討	分かりやすい情報発信の取組					
	③連携促進	・自治体との情報共有(好事例等共有) ・関係団体との情報共有(課題等共有)						

※1 当該対応のうち、激甚災害指定を受けたものの番号不明被災自動車の発生台数が小規模な場合においては、資金管理料金を原資に対応を行う。